

平成 20 年 10 月 30 日

県 内 景 況

株式会社 鹿 児 島 銀 行

株式会社 鹿児島地域経済研究所

最近の県内景況は、観光関連が堅調なもの、生産活動が弱含み、個人消費が悪化に転じるなど、情勢も一段と厳しい状況にあり、全体では停滞感を更に強めている。

生産活動は、電子部品や食料品関連が伸び悩んでいる。個人消費関連は、新車（乗用車・軽自動車）販売や大型小売店（百貨店・スーパー）販売が前年を下回った。投資関連では、公共工事の請負金額が前年を下回り、住宅着工戸数及び建築工事着工が前年の建築基準法改正による減少の反動により前年を上回ったものの低調である。その間、観光入り込み客数は前年と同水準となった。

【生産活動】 ... 弱含み

電子部品関連は、IC 生産やカラーLCD（液晶ディスプレイ）が伸び悩んでいる。

9月の**生コン**生産は、公共工事向け、民間工事向けともに前年を下回った。

9月の**紙パルプ**生産は、前年比 2.1% 増となった。

木材関係は、住宅建設向け需要が弱いことから、製材品が生産、出荷ともに低調に推移している。

9月の**大島紬**生産は、前年比 17.3% 減となり、減反基調に変化は窺えない。

焼酎は、引続き高水準で推移しているものの、出荷が伸び悩み、生産はややかげりを見せ始めている。

8月の**かつお節**生産は、原料かつおの水揚げ量が減少したことにより、10か月ぶりに前年を下回った。

【畜産関連】 ... 畜種により明暗分ける

肉用牛（和牛）の枝肉相場は需要の低迷から前年を下回り、子牛価格も前年を下回っている。豚肉相場は供給増により前年を下回る水準で推移している。一方、ブロイラー相場は堅調に推移しており、鶏卵相場は生産調整による供給減等により前年を上回る水準で推移している。

【消費関連】 ... 悪化

8月の百貨店売上げは、衣料品が引続き低調で、食料品も伸び悩んだため、前年比7.7%減と前年を下回った。一方、8月のスーパー売上げは、0.8%増と前年並みとなった。なお、大型小売店（百貨店・スーパー）販売は、前年比減少に転じた。

9月の乗用車販売台数は、4.2%減と2か月連続で前年を下回った。車種別にみると、小型車は3.7%増と前年を上回った一方、普通車が15.9%減と前年を下回った。また、軽自動車販売台数も6.1%減と2か月連続で前年を下回った。

【観光関連】 ... 堅調

9月の離島を除く主要ホテル・旅館の宿泊客数は、前年比0.2%増の横ばいとなった。天候的には、前年はなかった台風接近がみられたが、篤姫効果など観光面が下支えした。地区別には、鹿児島地区が前年を下回った。また、種子島・屋久島地区も、伸び率こそ鈍化したものの、7か月連続で前年を上回った。この間の主要観光施設入場者数も、堅調に推移した。

【投資関連】 ... 低調

9月の公共工事は、件数は前年並みとなったものの、請負金額が前年を下回った。

8月の民間建築工事は、前年の建築基準法改正による減少の反動により、棟数、床面積、工事費予定額の全てで前年を上回った。

8月の**新設住宅着工戸数**も、前年の建築基準法改正による減少の反動により、前年比79.3%増となった。利用関係別では、持家が23.6%増となり、貸家、分譲はそれぞれ2.4倍、4.9倍の大幅増となった。

9月の主要**建設資材**卸売業者の売上げは、2か月連続で前年を下回った。

【貿易関連】 ... 輸出、輸入共に前年を上回る

8月の**輸出額**は、半導体等電子部品や液晶表示板等の科学光学機器が前年を下回ったものの、ゴム製品や船舶類が前年を上回ったこと等により、全体では前年比27.7%増と3か月連続で前年を上回った。**輸入**は原油及び粗油や穀物及び同調整品が前年を上回ったことから、全体では前年比36.8%増と11か月連続で前年を上回った。

【雇用情勢】 ... 足踏み

8月の有効求人倍率は、前月を0.04ポイント下回る0.51倍となり、雇用情勢は足踏みしている。

【金融情勢】 ... 伸び悩み

資金需要は、企業の設備資金や運転資金が伸び悩んでいる。

【企業倒産】 ... 負債額が前年を上回る

9月の**企業倒産**は、件数が8件と前年同月(12件)を下回ったものの、負債額は大型倒産の発生により30億1,700万円と前年同月(8億9,000万円)を上回った。

以上

【本件に関するお問い合わせ】

(株)鹿児島地域経済研究所 (099-225-7491)